

# 寺田新堤・新堤 ハザードマップ

## 畑野地区 寺田・目黒町

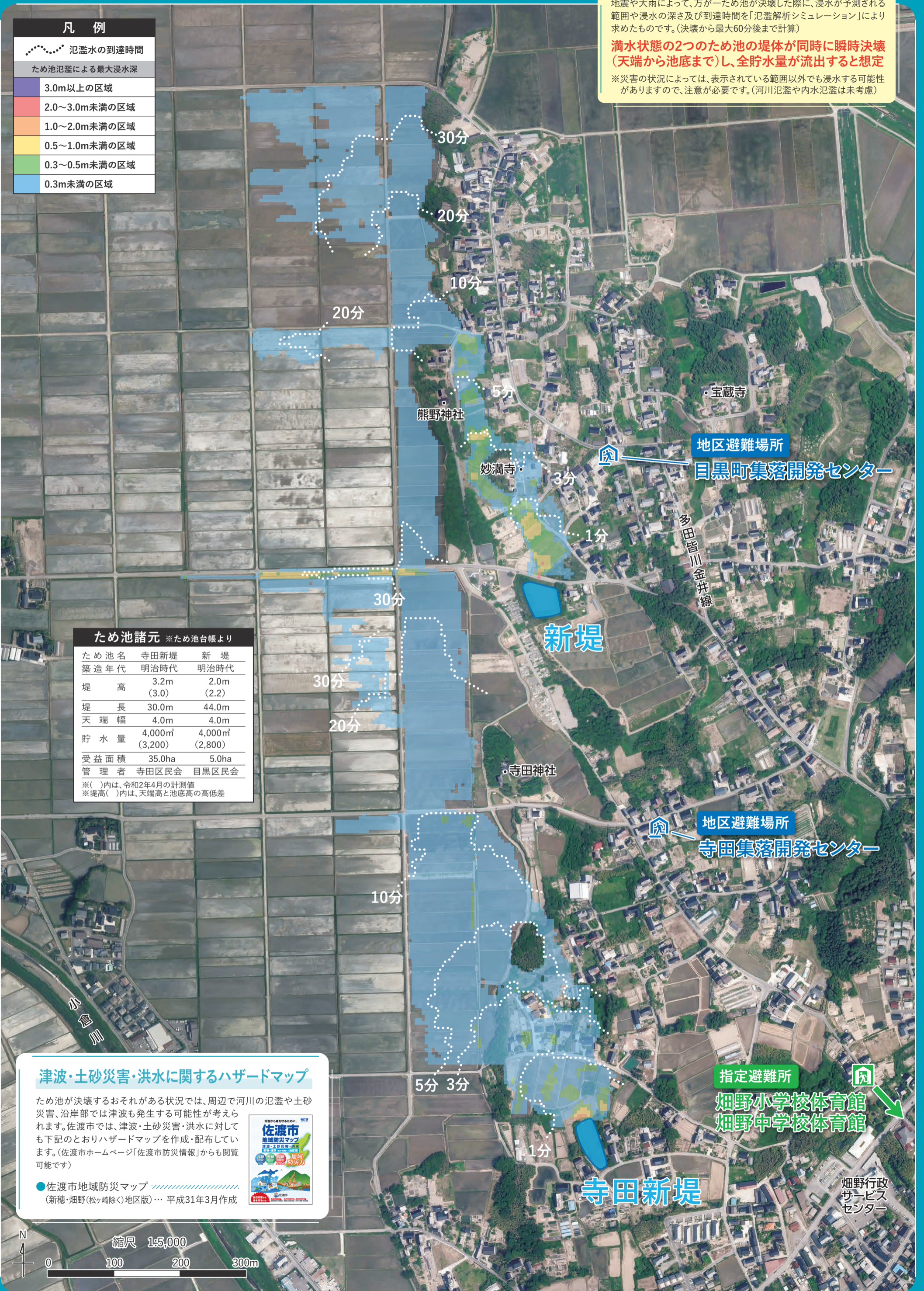
### 氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。(決壊から最大60分後まで計算)

**満水状態の2つのため池の堤体が同時に瞬時決壊(天端から池底まで)し、全貯水量が流出すると想定**

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。(河川氾濫や内水氾濫は未考慮)

凡 例	
	氾濫水の到達時間
	ため池氾濫による最大浸水深
	3.0m以上の区域
	2.0~3.0m未満の区域
	1.0~2.0m未満の区域
	0.5~1.0m未満の区域
	0.3~0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域



ため池諸元 ※ため池台帳より		
ため池名	寺田新堤	新堤
築造年代	明治時代	明治時代
堤 高	3.2m (3.0)	2.0m (2.2)
堤 長	30.0m	44.0m
天 端 幅	4.0m	4.0m
貯 水 量	4,000m <sup>3</sup> (3,200)	4,000m <sup>3</sup> (2,800)
受益面積	35.0ha	5.0ha
管 理 者	寺田区民会	目黒区民会

※( )内は、令和2年4月の計測値  
※堤高( )内は、天端高と池底高の高低差

### 津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性が考えられます。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。(佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です)



●佐渡市地域防災マップ  
(新穂・畑野(松ヶ崎除く)地区版)… 平成31年3月作成

